愛知県議会議員

桜井ひでき

現場の声を県政に!



県政レポート

2026年秋号
発行：桜井ひでき事務所
vol.31

message

感動をありがとう!

新型コロナウイルス感染症や物価・人件費等の高騰による大会経費の大幅増などの様々な課題を乗り越えた大会が無事に終了しました。この大会は、**戦禍によって引き裂かれたアジア諸国の絆を、スポーツを通じて取り戻し、恒久平和への願いを込め、第二次世界大戦後まだ間もない1951年に日本を含む11か国の参加のもとインドのニューデリーで開催され、今日まで続いています**。

大会ではどの国の選手も全力を尽くし、また、パラ競技大会では**困難を抱えながらも、それを強さに変え、懸命に取り組む選手の姿が目に焼き付いています**。選手・ボランティアのみなさんをはじめ、この大会に関わったすべてのみなさんに感謝申し上げます。

▼アジアが1つとなった開会式に感動!





▲豊田市で開催されたカヌー競技



▲博物館で行われたパラ競技採火式



▲市内小中学校の声援を受けてのパラ卓球

TOPICS 1

ジブリパーク第3期構想について委員会で確認!

ジブリパークへの一層の誘客を図り、県内の周遊観光促進につなげるため、愛・地球博記念公園西口広場を候補地とする第3期構想を公表し、基本構想及び基本設計を策定する、補正予算が上程され所管する総務企画委員会で確認をしました。



主な質疑

❶新たな施設を整備することで、来園者の滞在時間が長くなり、一日で回ることが困難となることが予想されるが宿泊に関する考え方について伺う。

答弁　宿泊の考え方については、新たな屋内施設の整備より、ジブリパーク来園者の滞在時間をさらに延ばし、県内での宿泊を今以上に増加させることができる。また、周辺にも多くの宿泊施設が整備されつつあり、**ジブリパーク来園者の宿泊施設の選択肢を増やすとともに、日帰りから宿泊への転換などにも寄与するものと考えている**。

❷アジア・アジアパラ競技大会に多額の予算を使い、大変厳しい予算策定となることを懸念しているが、第3期構想における次年度の予算策定に関しての考え方について伺う。

答弁　来年度予算については、基本構想・基本設計の内容を精査し、事業を早期に進められるよう適切に対応していく。また、**基本構想の策定及び基本設計にあたっては、第1期、第2期の実績も踏まえて、財政負担を少なくできるよう、しっかり監督し、適宜、設計者に比較案を検討させるなど、コスト管理に努めていく**。

桜井の意見!

今後のジブリパークについての在り方は**「進化し続ける」**ことが望ましいと考えます。
愛知県の観光の基盤のコンテンツとなることを期待します!

令和8年8月定例議会

アジア最大 スポーツの祭典を支える議会を開会!



代表質問

8月定例議会が8月27日(木)～11月9日(月)までの会期で開催され、自由民主党・あいち民主の2会派が代表質問を行い、あいち民主県議団からは、幹事長である河合洋介議員(知多郡第1選出:4期)が登壇し、県政諸課題について県の考えを質しました。*アジア大会のため9月3日から11月3日まで休会

質問1 防災庁の地方機関の設置について


▲質問する河合議員

Q **防災庁の地方防災局を愛知・名古屋に設置する意義をどのように認識し、設置の実現に向けて今後どのような戦略と体制で国に働きかけていくのか伺う。**

大村知事 答弁 南海トラフ地震等において、防災庁が当地域で司令塔機能を充分に発揮するために、その地方機関である防災局が愛知・名古屋に設置されることは大変有意義であり、このことは、**首都直下地震等における首都圏のバックアップ機能確保にもつながるもの**。愛知・名古屋への防災局設置の実現に向けては、このように、当地域がその設置場所としていかにふさわしいかを訴えることが重要である。このため、昨年8月には、県公館において、当時の赤澤担当大臣に対し、私と名古屋市長とで、愛知・名古屋への設置を要請し、その後、**11月及び本年7月にも、牧野担当大臣に対し、私から直接、同様の要請をおこない、今後も国に働きかけていく**。

質問2 2028年技能五輪国際大会について

Q **2028年技能五輪国際大会を一過性のイベントとすることなく、子どもたちに向け、技能職の魅力発信や、中小企業を含めた本県の将来の産業人材の確保・育成に、どのようにつなげていくのか伺う。**

大村知事 答弁 2019年度のAichi Sky Expoの開業以来、昨年度までの7年間に5回の技能五輪全国大会を本県で開催してきた。その中で、大会当日の無料シャトルバスの運行や、工科高校生等による競技解説ガイドの配置など、子どもたちの来場を促し、技能の魅力を伝える取組を進めており、実際に、**大会の見学をきっかけに、憧れの企業に就職し、技能五輪に出場する選手が出るなど、取組の成果も表れてきている。加えて、2028年の国際大会では、「技能がつなぐ、持続可能な未来」という開催テーマの下、世界各国・地域の選手と県内の小中学生が交流する機会を設ける**など、次代を担う子どもや若者にとって大会が技能の素晴らしさを感じる機会となるよう取り組んでいく。また、**若手技能者の育成に向けては、熟練技能者を「技の伝承士」として中小企業に派遣する**ほか、高等技術専門校では、企業の技能者向けにスキルアップ講座を開催し、講習会場として施設を貸し出すなどの支援をしていく。


▲答弁する大村知事

質問3 公立高等学校入学者選抜制度について

Q **今後、公立高等学校入学者選抜制度を、時代に即した見直しを行い、より多様性に配慮し、誰一人取り残さず、また、子どもたちの学びの成果を多様な観点から評価できる制度とするため、どのように取り組んでいくのか伺う。**

額縁教育長 答弁 本県では、大学関係者や有識者、PTA、市町村教育委員会、中学校、高校の関係者などで構成する入学者選抜方法協議会議において、毎年度、公立高校入試の制度について協議し、選抜方法の見直しなどの改善を進めてきた。直近の見直し内容としては、**中学校が作成する「調査書情報」について、出席についての考え方の変化や受験生の多様性に配慮し、来年4月に入学する生徒を対象とする2027年度入試から、「出欠の記録」や「性別」などを削除する**ことにした。さらに、高校・学科の特色を生かした選抜方法である特色選抜について、受験生の興味・関心や得意分野に応じて受験できる機会を拡充するため、**2028年度入試から、特色選抜実施校の拡大や入学検査の見直しを行う**。また、外国にルーツを持つ受験生に対して、これまで、英語、ポルトガル語、中国語など5か国語による受験案内を県教育委員会のWebページに掲載したり、Web出願システムの翻訳ツールを中学校対象の説明会で紹介するなどの対応を行ってまいりましたが、今後はさらに、**Web出願マニュアル簡易版の多言語化を図っていく**。


▲答弁する額縁教育長

主な議案

令和8年8月定例議会(8月27日～11月9日)では、国による中東情勢による影響への対応とした補正予算に呼応した、補正予算をはじめ28議案が上程・議決されました。また、意見書では、あいち民主県議団から「地方財政の充実・強化について」「誰もが安全・安心に働ける社会の充実」を含め6つの意見書が採択されました。

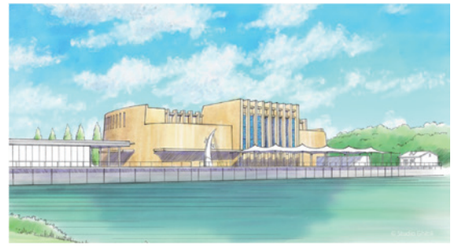
ジブリパークの第3期構想を推進：基本構想及び基本設計の策定、地質調査等を実施

●経緯

ジブリパークへの一層の誘客を図り、県内の周遊観光促進などにつなげていくため、来園者の滞在時間をさらに延ばすための方策や、熱中症対策といった課題の解消に向けた調査を実施した結果、複数の課題の解消につながる有効な方策として、新たな屋内施設の整備が考えられること、その際、来園者の滞在時間を大きく延ばすためには、訴求力を持つコンテンツの存在が必要であることが示されました。

●候補地の検討

調査の結果、ジブリパーク来園者の主動線に接し、整備に際して新たな造成を伴わず、既存施設と共存できる公園の西口広場が最適とされました。



中小企業の価格転嫁を促進するため、あいち産業振興機構の出張相談を強化

中東情勢の影響を受ける中小企業の価格転嫁を促進するため、(公財)あいち産業振興機構が設置する相談窓口「エキスパートあいち」に、価格転嫁マネージャーを新たに配置し、出張相談等の取り組みを強化します。

●価格転嫁マネージャーの支援概要

支援対象	価格転嫁に課題を抱える県内中小企業
支援開始日	2026年9月中旬
支援内容	・出張相談によるプッシュ型支援で、事業者が抱える課題を整理・分析する ・課題の優先順位や目指すべき方向性を明確化した上で、原価計算の手法やその実現について助言・支援を行う ・価格転嫁の課題を十分に認識していない企業に対し、価格転嫁の重要性を認識できるコンテンツを作成・周知し、支援ニーズを掘り起こす

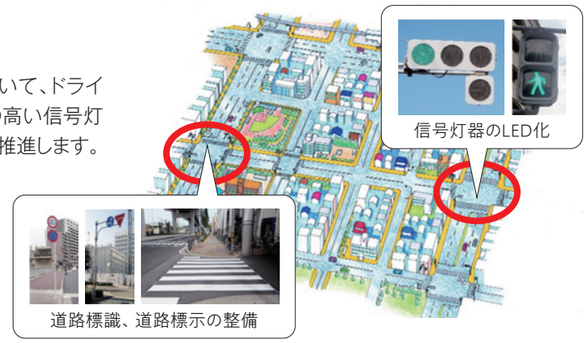
交通死亡事故抑止に向け、交通安全対策を推進

本県の厳しい交通事故情勢を踏まえ、交通事故多発交差点において、ドライバーや自転車利用者、歩行者の視認性を高め、交通事故抑止効果の高い信号灯器のLED化等の交通安全施設を緊急に整備し、交通安全対策を一層推進します。

●信号灯器、道路標識・標示の整備

- 信号灯器のLED化　181灯
- 道路標識の更新　658本
- 道路標示の更新　195㎞

Stop Slow Smart
3つのSで交通事故抑止!



「愛知県地域産業成長プラン」に沿った取組を推進

地域未来基金を活用し、産業クラスターの形成及び地場産業の付加価値向上と販路開拓等の推進に取り組みます。

●産業クラスターの形成

地域未来戦略産業クラスター計画推進費
- 産業クラスター形成に向けた県内企業の投資計画等の調査
- 県、美浜町及び南知多町等で構成する協議会を設置し、磁気・電子融合分野における産業集積を推進

電池開発評価支援拠点整備費
- 知の拠点あいちに次世代電池開発を支援する機器を整備

地域未来共創研究プロジェクト推進事業費
- 産学官連携による共同研究の実施に向けた調査及び研究テーマの選定

●地場産業の付加価値向上と販路開拓

あいち観光戦略推進費
- 観光地経営の高度化に向けた調査
- 観光産業における災害対応力強化に向けた調査

農業分野企業誘致促進事業費
- 企業誘致戦略の策定及び誘致に向けた市町村の機運醸成

AI活用農業地域展開促進事業費
- 実証事業を通じたAI活用農業経営モデルづくり及び地域展開戦略の策定

渇水対応型稲作技術開発事業費
- 渇水などの不測の事態に対応可能な稲作技術の開発と普及

あいちスポーツイノベーションプロジェクト推進事業費
- スポーツDXの推進のため、先進事例等調査、デジタルを活用した新たなスポーツコンテンツの普及等に向けた実証イベントを実施

TOPICS 2

大村知事に令和9年度政策要望を行いました!



6月より、あいち民主県議団内にて各部会で議論を重ね、重要性と具体性の両面から提言項目を精査し、県民ニーズの多様化に対応しながらも、実効性と分かりやすさを確保することに重点をおきました。また、小職は総務企画部会長として所管する案件についてとりまとめを行いました。

▲会派役員により知事へ要望!

主な関係分の要望　＊総務企画関係

●統合型リゾート(IR)の検討

民間事業者からIR事業の提案があった場合、将来にわたって地域社会に寄与する「MICEを核とした国際観光都市」の実現につながる検討を行うこと。また、ギャンブル依存症への影響や治安対策上の懸念事項、県民意識への丁寧な対応も行うこと。

●自転車の安全利用促進

自転車の安全利用に関する更なる啓発を行うとともに、ヘルメット着用や損害賠償責任保険加入促進のため高等学校を始めとした関係機関･団体に働きかけること。

●災害関連死減少のための避難生活支援

避難生活での体調悪化による「災害関連死」を防ぐための避難所運営の支援の充実と、プッシュ型支援で提供する基本8品目に付随する物資の充実を図ること。また、在宅避難や車中泊避難についての仕組みづくりと情報提供を推進すること。

●SNSを利用した犯罪への未然防止対策

特殊詐欺を始めとしたSNS等を利用した犯罪について、特に若者が犯罪に加担したり、犯罪をしないよう未然防止に向けた、効果的な啓発を研究し、取り組みを進めること。

桜井の意見!　県民の皆さんからいただいた意見をもとに6月よりそれぞれの委員会･部会ごとに取りまとめたものを1つにして要望。2027年2月議会にてその反映状況を確認します。

日々の活動



7/17 豊田少年少女発明クラブ知事表敬訪問

5月にアメリカで開催された創造的問題解決コンテスト世界大会で準優勝され知事に報告しました。



7/19 知立市議会議員選挙激励

酷暑の中での選挙にて同志である「杉浦こういち」候補が見事3選を果たされました。



7/23 ユタカクラブ議員協議会銘板額縁の付け替え

トヨタグループの労働組合から擁立している議員で構成している現役･歴代銘板の額縁を更新。



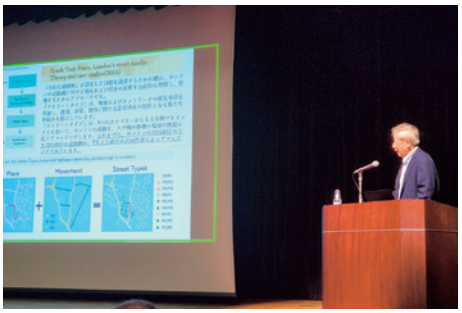
8/3 全トヨタ労連政治センター幹事会で活動報告

産業政策に関する取り組みを報告させていただきました。



8/25 K-TENを視察

絵画教室「小林美術研究所」の修了生による展示会を視察。



9/10 豊田都市交通研究所記念講演会に参加

長年にわたり所長を務めていただいた原田さんの退任記念講演会に参加。

ホームページを是非ご覧ください ▶ https://sakurai-hideki.com/

発行：桜井ひでき事務所　〒471-0832 豊田市丸山町10-5-1
TEL 0565-71-1555　FAX 0565-29-0274